

公益財団法人 楽天未来のつばさ  
財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品については均等償却(3年)によっている。

ソフトウェアについては定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理方法は、税込経理を適用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
特定資産				
子ども支援事業積立資産	41,147,298			41,147,298
子どもアフター支援事業積立資金	5,006,469		5,006,469	0
特定費用準備資金	0	20,000,000	5,000,000	15,000,000
合 計	46,153,767	20,000,000	10,006,469	56,147,298

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
特定資産				
子ども支援事業積立資産	41,147,298	41,147,298	0	0
特定費用準備資金	15,000,000	0	15,000,000	0
合 計	56,147,298	41,147,298	15,000,000	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	434,790	372,870	61,920
ソフトウェア	472,500	441,000	31,500
合 計	907,290	813,870	93,420